

国土交通省説明資料

- **船舶安全法**では、船舶の堪航性（構造の堅牢性、復原性、推進性、操縦性等）及び人命の安全の確保を図ることを目的に、**船舶の所要施設等に係る技術基準**を定め、当該**基準への適合性について検査において確認**している。
- 船舶による**危険物（圧縮水素ガス等）の運送及び貯蔵に関する事項**についても、同法に基づく**危険物船舶運送及び貯蔵規則**において定めている。

船舶安全法

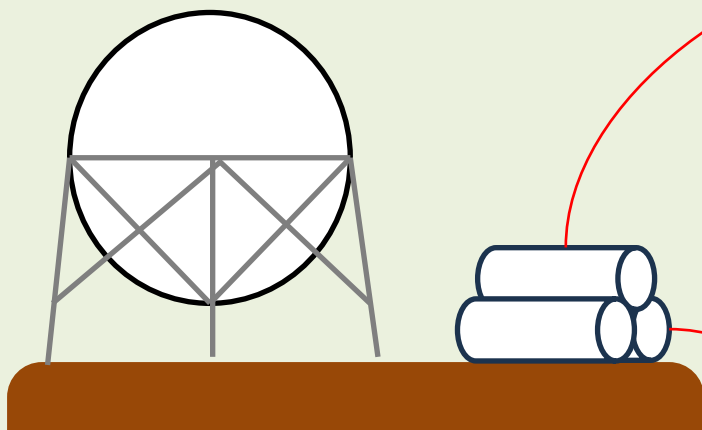
目的

日本船舶の堪航性及び人命の安全の確保を図ること

主な規定内容

- 船舶の所要施設等
 - 堪航性及び人命の安全を確保するために必要な構造・設備の施設要件 等
- 船舶の検査
 - 定期検査・中間検査・臨時検査等の受検の義務づけ 等
- 危険物の運送等
 - 危険物その他の特殊貨物の運送及び貯蔵に関する要件 等

高圧ガス保安法



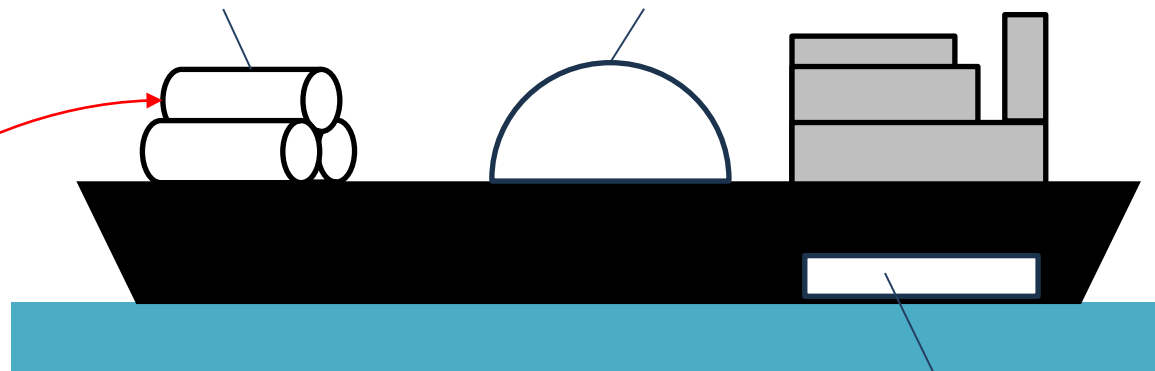
船舶安全法

【一般的な船舶】

※自航

可搬式貨物タンク

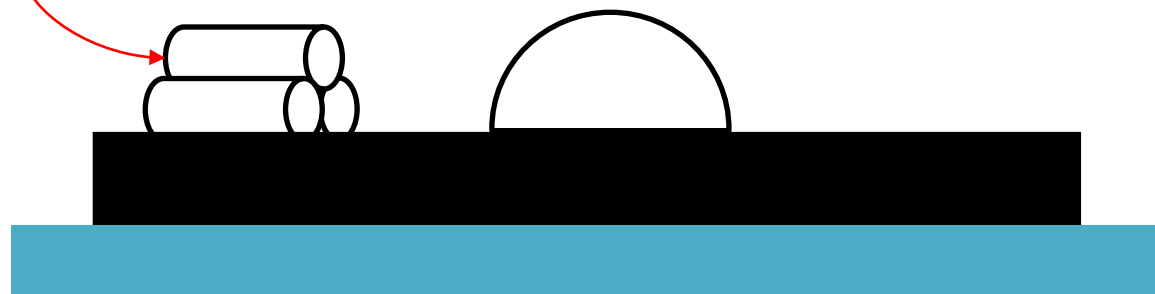
据付け式貨物タンク



燃料タンク

【はしけ】

※非自航



※船舶安全法の検査においては、高圧ガス保安法に合格していればよいこととしている。